

## 1 題材 音楽の持ちょうを感じて

教材 日本古謡（「子守歌」

「祭りばやし」）

郷土の音楽（「阿久根ハンヤ節」「山田楽」）

日本の民謡（「谷茶前」「八木ぶし」「江差追分」）

## 2 題材について

子どもたちは、これまでにわらべうたを歌ったり、第4学年では「いろいろな地方のおはなし」の学習をしてきている。また音楽集会の時間に表現を取り入れた鹿児島県のわらべうたを全校児童で歌ってきている。しかし、子どもたちが、合唱や器楽合奏、鑑賞の学習で触れてきた音楽の大部分が西洋音楽である。そこで、ここでは、我が国に古くから歌い継がれている古謡や民謡に親しんで演奏したり、郷土の音楽に目を向け表現することを通して、我が国の伝統的な音楽や郷土の音楽に興味を持ち、鑑賞や表現に意欲的に取り組み、良さを味わうことができるようにすることをねらいとして本題材を設定した。

## 3 目標

- (1) 日本の伝統音楽や郷土の音楽に関心を持って聴いたり、表現したりしている。
- (2) ふしの感じやリズムを生かして歌唱表現や器楽表現ができる。
- (3) 日本の伝統音楽や郷土の音楽の特徴を感じ取ったり、友達の演奏の工夫している点に気をつけて聴くことができる。

## 4 教材について

(1) 学習指導要領との関連

A 表現 (1) ア 範唱や範奏を聴いて演奏すること。

(2) ア 歌詞の内容や楽曲の構成を理解して、それらを生かした表現の仕方を工夫すること。

(3) イ 音色の特徴を生かして、旋律楽器及び打楽器を演奏することができる。

(4) ア 曲の構成を工夫し、簡単なリズムや旋律を作って表現すること。

イ 自由な発想を生かして表現し、いろいろな音楽表現を楽しむこと。

B 鑑賞 (1) ウ 楽器の音色及び人の声の特徴に気をつけて聴くこと。またそれらの音や声の重なりによる響きを味わって聴くこと。

(2) 「山田楽」について

今を去る380年前、関ヶ原の戦いにおいて、我が島津軍は西軍として、豊臣方につき、敵の徳川軍と天下分け目の一大決戦をした。豊臣方は勝利あらずして、敵徳川軍の包囲網の中に孤立した。その時、我が郷土出身「中馬大蔵」（豪雄武士 墓地は瀬之浦下集落にある。）の剛弓により敵の包囲網を中央突破し、血路を開いて悠々綽々軍律を乱すことなく鹿児島に向かって帰路についたのである。その時の郷土の勇士「山田昌巖」は、鐘、太鼓を打ち鳴らし、我が島津軍健在なりと、兵卒の志気を鼓舞したという。これが、山田楽の起こりである。

以来、時代の流れと共に我が郷土脇本の古里、瀬之浦の古老達が色々苦心、編曲の結果、今日の「山田楽」として郷土芸能として伝承されている。

(3) 郷土教材に関する児童生徒の実態

「阿久根みどこい祭り」で市中を踊り、練り歩いたという経験を持つ児童が数名いた。また、「阿久根ハンヤ節」は毎年運動会で5・6年の児童が踊っているので、子どもたちにとって、なじみがある曲であるが、あまり好んで口ずさんだりすることはないようである。

郷土芸能「山田楽」は、阿久根 脇本地区に伝わる伝統芸能であり、隣の校区であることから、本校の子供たちも知っていたり、また実際にみたことがある子供も多い。しかし、由来などについて知っている子供はほとんどいない。

(3) 指導上の留意点

- 阿久根市に伝承されている音楽もいろいろあることを紹介するために、ビデオを用意し、その掲示を工夫する。(隼人棒踊り、八郷棒踊り)
- 伝承していくことの難しさ、大切さを地域の方に話してもらい、郷土の音楽への子どもたちの関心を高めたい。

5 指導計画（全8時間）

過程	時	教材	主な学習活動	○指導上の手だて◆評価
課題把握	1	子守歌	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     子守歌の節の感じを生かして演奏しよう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子守歌（陽音階と陰音階）を歌ったり、リコーダーで演奏したりする。</li> <li>○ 2つの子守歌のふしの感じの違いについて話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 曲の感じと歌詞の内容を結びつけて捉えることができるようにする。</li> <li>○ 2つの子守歌の感じの違いが表現しやすいように、情景や気持ちにも目を向けさせる。</li> <li>◆ 日本の歌に関心を持ち演奏を工夫している。(1)</li> </ul>
課題追求I				

課題  
追求Ⅱ

2

祭  
ば  
や  
し

祭りの感じを生かして太鼓とリコーダーで「祭りばやし」を演奏しよう。

- 和太鼓の基本的な演奏方法を知る。
  - ・リズムの特徴
  - ・リズム作り
- 階名唱をする。
- リコーダーで演奏する。

3

おはやしのふしの特徴を生かして、おはやしのふし作りをしよう。

- おはやしのふしの特徴を確認する。
- おはやしのふしを作る。

4

つくったおはやしを太鼓とリコーダーで演奏しよう。

- 作ったふしやリズムをどのようにつなげていくか考える。(グループ活動)
- 1つのおはやしを協力して作る。

5

「祭りばやし」を発表しよう。

- おはやしのふしの特徴を生かした演奏になったか、確認をしながら練習をする。
- グループで協力して発表する。

課題  
追求Ⅲ

6

郷  
土  
の  
音  
楽

郷土の音楽「阿久根ハンヤ節」を演奏しよう。

- 「阿久根ハンヤ節」を歌ったり、リコーダーで演奏したりする。
  - ・グループごとに演奏する。
- リコーダー以外で曲にあう楽器(打楽器など)を組み合わせて演奏する。

7

郷土の音楽「山田楽」を演奏しよう。

- ビデオで「山田楽」観賞する。
- 鐘・太鼓をたたき音を工夫し、演奏に加える。

日  
本  
の  
音  
楽

8

日本のふしの感じを味わって聴こう。

課題  
追求Ⅳ

○ ドン(右)コン(左)カカ(梓)と口でリズムを言えるようにする。

○ ドレミソラの5音だけが使われていることに気づかせる。

○ 作ったふしを階名など、自分なりの方法で記録させておく。

○ ふしまね遊びを行い、できそうだという自信を持たせる。

○ 一人8拍程度の短いふしを作り、それをグループでつなげていくようにさせる。

◆ 自分なりに工夫して、リコーダーの旋律や太鼓のリズムを作っている。(2)

○ 雰囲気作りを大切に、楽しんで踊れるようにする。

○ 踊りの出来る子供に踊らせたりして、他の子供に感覚的に捉えさせる。

○ どのような楽器が適当か、考えさせたい。

◆ 郷土の伝統音楽に関心を持ち、聴いたり演奏したりしている。(1)

課題 解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いろいろな日本の民謡を聴き、日本のふしの特徴について話し合う。</li> <li>○ 民謡について分かったことや感想をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本の民謡の特徴に気づくことができるように、外国の民謡と聴き比べさせるようにする。</li> <li>◆ いろいろな民謡の特徴を感じ取って聴くことができる。(3)</li> </ul>
まとめ		

## 6 本時の実際 (7 / 8)

### 1. 目標

- ・「山田楽」について知り、関心を持つことができる。
- ・太鼓や鐘のリズムを工夫して表現の楽しさを味わうことができる。

### 2. 実際

過 程	学 習 活 動	○教師の手だて
振り返る	1. 前時の学習を振り返る。 「阿久根ハンヤ節」を演奏する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時までの活動を振り返り、本時の学習に向けて課題意識を持たせるようにする。</li> <li>○ 子供たちが山田楽についてよくわかるようビデオをみせる。</li> </ul>
見通す	リズムや振り付けを工夫して「山田楽」を演奏してみよう。	
錬り合う	4. 「山田楽」の演奏をする。 (グループ活動) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 太鼓や鐘のリズムはそれぞれどのように表現するか考える。</li> <li>・ 何度もビデオをみて、独特の節回しを覚える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事前のアンケートをもとに児童の実態にせてグループ分けを考えておき、思うように活動できないグループは、教師と一緒にするなどの手だてを行う。</li> <li>○ 太鼓と鐘のリズムは、それぞれどんな楽器で演奏したらよいか、声かけをする。</li> </ul>
まとめ	5. 学習のまとめをする。 阿久根の伝統音楽について学んだこと演奏した感想などについて各自振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 振り返ることで、児童の満足感や成就感られるようにする。</li> </ul>

## 7 評価

- (1) 日本の伝統音楽や郷土の音楽に関心を持って聴いたり、表現できたか。
- (2) ふしの感じやリズムを生かして歌唱表現や器楽表現ができたか。
- (3) 日本の伝統音楽や郷土の音楽の特徴を感じ取ったり、友達の演奏の工夫している点に気がつけて聴くことができたか。